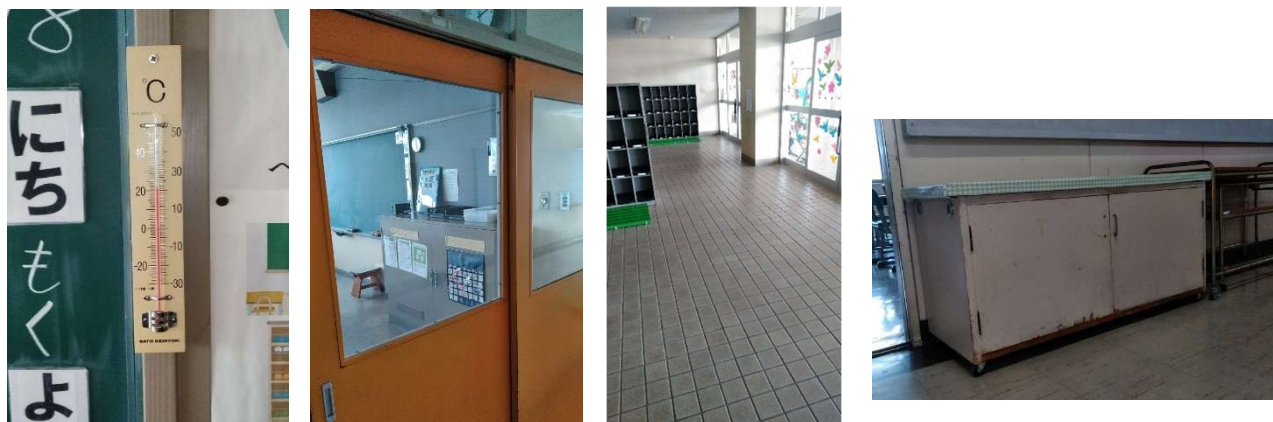


## 「見えない手！」 ～子どもたちを支える職員～

○4月26日



いきなりですが、4枚の写真を載せました。

左は温度計、次は教室の戸のガラス、その次は児童玄関の床タイル、最後は給食配膳台です。

学校では先生方が子どもたちを支え、指導しています。ですが、直接子どもたちと接しなくても子どもたちを支えている方たちがたくさんいます。

温度計はボイラー技士の本間さん。まだ肌寒い風が吹く季節。子どもたちが寒い思いをしないように、そして暑すぎないように、1日4回校舎を回って、各教室の室温を確認します。

次のガラスは学習支援員の大嶋先生。担任が家庭訪問に行ってしまった放課後に、教室のガラスを磨いてくれていました。

その次の床タイルは公務補の平野さん。玄関だけではありません。校舎中をまる一日きれいに磨いてくれていきます。広い学校の全てをきれいにするのは大変だと思います。

最後の配膳台は公務補の坂本さん。給食が始まる前に、動きの悪い台車を修理してくれました。他にも校舎内で壊れた物があると直してくれます。

紹介したのは一部にすぎません。おいしい給食を作っている調理員さんもいます。

檜垣先生が大嶋先生と教室をきれいにしていることもありました。

職員のみなさんが、子どもたちのわからない所でも、子どもたちのために、優しい手を広げてくれていいます。

